

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経 営者）	お客様の様子	・今月も仏壇処分が多く、永代供養合葬墓に入れたいという依頼が多い。
	○	商店街（代表 者）	販売量の動き	・当店では学校指定の体育衣料を主に扱っている。4月初めの販売では、前年並みだと思っていたが、毎日のように、1着買ったが、もう1着クラブ活動等で欲しいといった追加注文を受けており、大変驚いている。思っていたよりも景気が良い。
	○	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・行楽等で遠出をしない人たちが、家で過ごすために買いだめをしているようで、買上点数が多い。朝食から夜食までと思われる商材を一気に買っている人が多い。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・季節的なトレンドから、上昇している。
	○	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・新車、中古車共に販売は上向いてきている。
	○	自動車備品販売 店（従業員）	単価の動き	・ここ最近では前年比で来客数は10%以上増え、客単価も上がっているため、良くなっている。
	○	その他専門店 〔酒〕（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出前から、家飲みของลูกค้าがやや増えてきているようである。特に、首都圏で酒の提供ができないということで、県外客らしき人も見受けられる。また、非常に厳しい状況だが、今後も難しい局面になってくると考えている。現状は1月と比べて、少し良くなったかと思うが、この先、どこで変わるか分からない。
	○	観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	・1～2月は予約がほぼ全てキャンセルとなり、長期間休業に追い込まれる最悪の状況だった。それと比べれば、4月の休業は8日ほどなので、まだ良い状況である。とはいえ、1か月に8日も休業して平均客室稼働率が20%以下で、「まだ良い」と言っているとは、感覚が麻痺していると思えない。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス関連の情報次第で、どうなるか先行きは分からない状態である。
	○	観光名所（職 員）	来客数の動き	・コース変更を強いられた修学旅行が、当地へ訪れている。新型コロナウイルス前と比較すれば、少ないながらも一般の観光客も動き始めている。
	○	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・中古別荘販売に動きが見られるようになってきている。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置、緊急事態宣言と立て続けに発出され、観光客が外出を自粛しており、厳しい状況が続いている。
	□	一般小売店〔家 電〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍のなかでの生活も、安定している様子がうかがえる。ワクチン接種を始め、終息にまだ先が見えず、出費を控えているようで、商材の動きも緩やかである。
	□	一般小売店〔家 電〕（経営者）	販売量の動き	・イベント等を開催しても、客の動きが少ない。
	□	スーパー（経営 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、周辺の居酒屋等は売上を落としている。当店は前年比で売上6%増、来客数同比1%減となっている。前年より少ないがイベントも行われているので売上は伸びているものの、2年前と比べて売上は17%減、来客数は25%減となっている。コロナの影響はまだしばらく続きそうで大変困っている。
	□	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・当店近くに新しい道路が1本できて、影響があるかと思っていたが、特別なかった。客の流れも特別大きく変わってはいない。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・相変わらず人出がなく、売上もない。
	□	家電量販店（店 長）	来客数の動き	・前年に比べ、集客が8割にとどまっている。

□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備は3～4月と微増ではあるものの、目標値を超え、順調といえる。車両販売は、今月は低迷しており、特に、新社会人からの問合せ等が非常に少ないことに驚かされている。今月に入り、再び、東京都に緊急事態宣言が発出され、少なからず当県にも影響があるのではないかと懸念している。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・前年の今頃より悪い。
□	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・低調気味なものの、新規の来客も見受けられる。行動範囲が自粛要請で規制され、これまで遠出して来た客が来ているのかもしれない。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・3か月前の1月は大雪で客足が途絶えた。今月は来客数が10%程度は増えているものの、ここに来て首都圏での緊急事態宣言発出で、動きが鈍くなっている。最終的に1月の売上と変わらない。
□	旅行代理店(副 支店長)	来客数の動き	・1月は緊急事態宣言発出で客の動きが止まり、解除されて少し動きが出てきたものの、再度「まん延防止等重点措置」や3度目の緊急事態宣言発出によって、県の新型コロナウイルス感染警戒レベルも上がってしまい、旅行者の動きが再び止まっている。
□	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・地方でも新型コロナウイルス感染者数が増加しており、今後の不透明感が更に増大し、加入や解約の動きが止まっている。
□	通信会社(社 員)	販売量の動き	・特段、強調材料はなく、良くも悪くもない。逆に言えば、自粛や新型コロナウイルスの影響も特に受けていない。
□	ゴルフ場(経営 者)	来客数の動き	・旅行に行けない、イベントはない、帰省できないと、移動が制限されるなか、密を避けられるゴルフ場には、追い風となっている。
□	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・手が回らない状況からは落ち着いてきている。
▲	商店街(代表 者)	来客数の動き	・人口10万人当たりの新型コロナウイルス感染者数でも低位にある当地だが、他地域の緊急事態宣言の様子は報道などで入ってくるため、気分的に外出自粛となり、商店街への客足は途絶えている。
▲	スーパー(経営 者)	来客数の動き	・最初の緊急事態宣言から1年が経過し、新型コロナウイルスが感染拡大しても客に慣れがあるため、来客数、買上点数共に減っている。
▲	コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、若干来客数が伸び悩んでいるため、客への販売量も伸び悩んでいる。
▲	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第4波による影響で、予約キャンセル、外出自粛要請等で、経営が圧迫されている。
▲	都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・3度目の緊急事態宣言が4都府県に発出されたため、予約のキャンセルが増えてきている。
▲	遊園地(職員)	来客数の動き	・学生団体の受入れや家族連れの来園が増加傾向にあったものの、3度目の緊急事態宣言が発出されたことを受け、最終週の日曜日は集客減となっている。
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・一段と新型コロナウイルスの収束が見えず、前年以上に商店街にも人がいないので、売上が悪くなってきている。
×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・あれだけ「会食するな」とテレビで報道されたら、客は減る。どうにもならない。
×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、客の様子なども気になる。いずれにしても、新型コロナウイルスは怖い感染症で、本当にどうしてよいか分からない。
×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う緊急事態宣言等で、非常に落ち込んでいる。人の動きが少なく、特に、夜の利用はほとんどない。
×	その他レジャー 施設[ボウリン グ場](経営 者)	来客数の動き	・開店時から夕方までは、シニア層を含めある程度の来客はあるものの、夜間の客の動きが全く感じられない。緊急事態宣言が再発出され、これから更に厳しくなるのではないかと懸念している。
×	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、一般の貸切バスの仕事はもちろん、学生向けの仕事も全てキャンセルになっている。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社で量産案件が動き始めたため、やや良くなっている。
	○	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は半導体需要の増加に伴い景況感が改善した一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い悪化し、2極化が拡大している。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月の売上は計画には何とか追いついているが、目標自体がやや低めの設定となっているので、そのままの評価はできない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地域の新型コロナウイルス感染警戒レベルの影響で、ワークショップの予約等は制限せざるを得ない状態である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しずつではあるが、受注量は回復している。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・3か月前と比べて富士山周辺地域への観光客は、徐々に増加し、新型コロナウイルス禍とはいえ、観光関連業を中心に、景気は上向いている。しかし、他業種の取引先の状況等を総合的に勘案すると、変わらないという回答が妥当と判断する。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・月初、小売店は売上回復基調にあり、客単価も2割ほど上昇していた。街に人が出てくるようになり、ゴールデンウィークに向けてイベントも企画し、商材の調達にも前向きだった。しかし中旬からは、新型コロナウイルスの影響で、まん延防止等重点措置が実施され、催事に来場予定であった客から次々とキャンセルの連絡が入り、集客減、売上低迷につながった。更に25日からの緊急事態宣言の再発出で、百貨店は休業せざるを得ず、東京、大阪の百貨店を始め、催事は軒並み中止となっている。
	▲	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・各種イベントや飲食、宿泊等、人の往来による売上が主体の企業からの厳しいとの声が大きくなっている。新型コロナウイルス禍で売上減となるなか、わずかな収入でもと工夫してつないできたが、出口の見えない状況に「限界に近い」、「体力がある企業は良いが、中小は新たな事業を始めるのも難しい」といった経営者からの話が多く聞かえている。
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・スーパーでの販売点数が、日ごとに悪くなってきている。
×	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・インターネットによる販売はあるものの、近隣の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出による影響で、工場見学者はほとんど来ない。また、飲食店、宿泊施設からの注文も激減している。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人掲載件数は徐々に増えてきている。多店舗を運営する地域の飲食店では3月始めから正社員やアルバイトを募集しているが、応募者が極端に少なく、人手不足のために売上が減少している店もある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月、緊急事態宣言解除に伴い、サービス業、特に、宿泊業や飲食業からの求人が増加し活気が戻りつつあったが、都市圏の新型コロナウイルスの感染者数がリバウンドしたことで事態が悪化し、3か月前の状況に戻ってしまっている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・緊急事態宣言には強制力もなく形骸化しており、経済活動に良い影響を与えない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人は増えてきているものの、正社員採用については慎重な姿勢が続いている。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・採用条件等は更に厳しい状況の上、合否判定に時間が掛かりチャンスロスが発生している。そのため、就職活動がうまくいかず、収入がないので消費に回るわけがない。貧富の差が一層拡大している。
×	—	—	—	—